

多面的総合的評価に繋がる入学者選抜と評価方法の構築

[キーワード: 入学者選抜, AP, 入試制度設計, 評価, 入試広報]

教授 植野 美彦

<研究の概要>

多面的総合的評価に繋がる入学者選抜と評価方法の構築

徳島大学B学部 アドミッション・ポリシー (抜粋)

横軸: 重点評価項目 = 求める人物像 (A・P)

学力の3要素の評価

●入学者選抜方法における重点評価項目 (入学者選抜方法と求める人物像との関係性)

| 入学者選抜方法 | 該当選抜区分 | 関心・意欲・態度 | 探究力 | 表現力 | 知識・教養 | 専攻力・能力 | 協働性 |
|-------------|---------------------------|----------|-----|-----|-------|--------|-----|
| 共通テスト | 一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ | | | | | | |
| 個別学力検査<数・科> | 一般 (前期) | | | | | | |
| 総合問題 | 一般 (後期) | | | | | | |
| 小論文 | 推薦Ⅰ | | | | | | |
| 筆記試験 | 一般 (前期) | | | | | | |
| 個人面接 | 推薦Ⅱ | | | | | | |
| 活動報告書 | 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ | | | | | | |
| 学びの設計書 | 推薦Ⅱ | | | | | | |
| | 一般 (前期) | | | | | | |

縦軸: 選抜方法より多面的・総合的評価

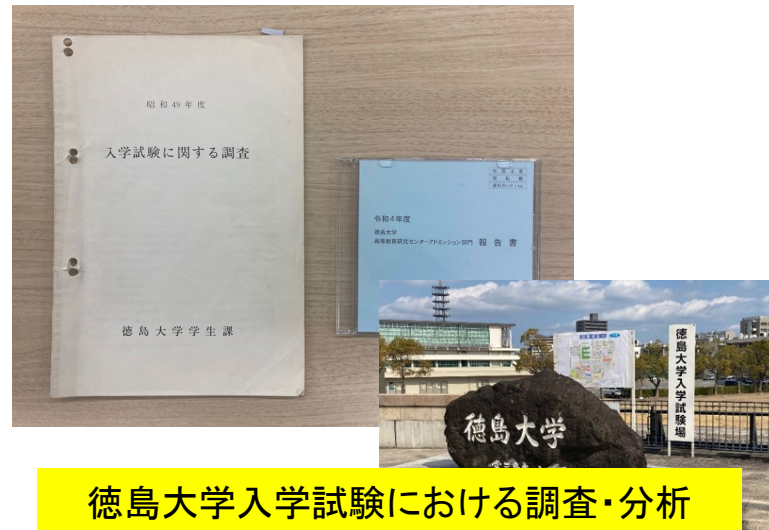
総合的評価の考慮



アドミッション・ポリシーの実質化

公正な評価

入学試験における志願者動向の追跡



徳島大学入学試験における調査・分析

内容

・多面的総合的評価に繋がる入学者選抜と評価方法の構築

我が国の入学者選抜は、学校推薦型選抜や総合型選抜の拡大など、21世紀に入って入学者選抜の多様化が加速しています。これらの選抜とは異なり学力試験では測れない能力の評価(例えば書類審査や面接など)が大きな比重を占めることとなります。学力試験は評価(採点)が比較的わかりやすい試験ですが、書類審査や面接などは評価が難しい試験です。良質な試験とするためには、評価にあたる誤差をいかに最小限にするかが生命線であり、このことへの配慮が欠かせません。そこで学部と連携しつつ、入学希望者の能力・意欲・適性等を実質化したアドミッション・ポリシーに基づいて適切に評価し、公平・公正な方法でこれらの試験における評価のあり方について研究活動を行っています。また、評価者側の負担を少なくする手法についても私の所属するアドミッション部門の機関研究として行っています。

・入学試験における志願者動向の追跡

大学志願者数(特に個別大学の志願者数)は様々な要因によって変化します。毎年にとわって各選抜区分の志願者動向について蓄積された各種データを徹底的に追跡し、何の要因で志願者の増減が発生したのかについて調査の上、分析報告書(昭和49年から現在まで続く)をまとめるなどの研究活動を行い、入学者選抜の改善や学生募集へ寄与する活動を推進・支援しています。

分野: 高等教育学

専門: 入学者選抜

E-mail: ueno.yoshihiko@tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-7857

Fax: 088-656-7858

URL <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/277531/profile-ja.html>